

# 令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 藍島 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

### 4. 本校児童の運動習慣や生活習慣等の実態

質問紙調査の結果分析
<p>休み時間には、外でソフトボールやサッカー、タグラグビー、鬼ごっこなど積極的に身体を動かしている。体育の時間は、個々の課題に応じて、場の設定に取り組み、運動技能と体力をつけている。課題としては、放課後、外で遊ぶことが少ないことが挙げられる。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>体育の授業において、問題解決型の授業に取り組んでいく。具体的には、めあてを問いの形で設定し、活動に取り組む。協働して、問いが解決できるように対話場面を設ける。極少人数であるため、全校で体育の授業を行い、子ども同士で学びあうことができるようにする。また、少人数の特性を生かし、45分の授業において子どもの運動量を30分以上確保し、子どもの体力向上を目指していく。</p>
---

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>1校1取組みとして、一輪車に継続して取り組んでいく。具体的には、毎週水曜日の中休み15分間を「一輪車タイム」とし、一輪車の技の練習に取り組んでいく。また、3学期は、ふるさとマラソン大会に向けて、3週間、「ランランタイム」を設定し、朝学習の時間に10分間程度、持久走に取り組んでいき、子どもの体力の向上を図った。</p>
--